

放送大学 北海道同窓会会報

第 23 号

発行 放送大学北海道同窓会
発行責任者 中根 恵美子
編集 広報担当
発行日 2013 年 11 月 28 日(木)
URL: <http://hhdoso.sakura.ne.jp>

会員数 200 名 (2013 年 9 月 29 日現在)

「研究発表会実行委員会と同窓会」



放送大学北海道同窓会 会長 中根 恵美子
学友会・学生サークル・同窓会・学習センターが構成する放送大学研究発表会・文化祭両実行委員会」と協働してから、私たち北海道同窓会はお陰様で更に活気あふれる力強い会になりました。

今年、第 9 回放送大学研究発表会開催に合わせて、8 月 31 日～9 月 1 日に「第 1 回東北・北海道ブロック同窓会交流会」を開催させて頂きました。出席同窓会は仙台宮城野会役員 3 名、秋田同窓会役員 3 名、山形同窓会会長 1 名、青森同窓会役員 3 名、連合会本部から正副会長 3 名と、今回の幹事同窓会である北海道同窓会役員が集まりました。

8 月 31 日(土)は、第 9 回放送大学研究発表会に出席して頂き、発表会終了後学生との懇談会を行い、斎藤連合会長から同窓会の役割などを話され、学生の要望や意見に応答して頂き懇談しました。夜には懇親会を研究発表会実行委員会と合同で開催し、筑和センター所長、土橋事務長、冨田前所長、研究発表者 3 名が同席され実行委員会メンバーや北海道東北ブロック同窓会役員、会員と席を交換しながら歓談し、交流会初日は、大いに盛り上がりました。また、我が同窓会初代の加藤会長が出席され、遠路から出席された東北ブロックの同窓会役員の皆様、連合会本部の方々と当日の参加者各位様に謝辞と「北海道同窓会にご厚誼頂きたい旨」のお願いの挨拶をして下さり、至らない私は北海道同窓会を背負って疲れ気味でしたが、大きな後ろ盾があったのだと感動し又、10 年の歴史を再認識しました。

翌 9 月 1 日(日)の同窓会情報交換会では、連合会長から補助金申請のノウハウの説明を受け、各同窓会は活動報告や連合会に対する活発な質問があり、次回開催の時期や幹事同窓会の選出など有意義な会となりました。ブロック交流会参加の方々が口々に「前日の研究発表会が学友会や学生サークルと同窓会が一致団結して協働していることの力強さがあり素晴らしい」とほめてくださり、力を合わせて開催してきた 3 年間の実行委員会を誇りに思いました。同窓会は、学生と母校の支援をするのだと口癖の様に言って参りましたが、



[斎藤連合会長と加藤初代北海道同窓会長]

同窓会もまた母校と学生の力を得て、より活発に活動できるのだと実感しました。

埼玉同窓会をお手本に積み上げてきた信頼関係を今後もより強力なものにして、放送大学北海道学習センターの学生や、同窓生が誇りを持てるような私たちの学会である「放送大学研究発表会」や多くの地域の方々と学生が参加する楽しい「文化祭」の運営に協働していきたいと思います。

放送大学北海道同窓会は来年6月に創立10周年になります。

祝う会でお赤飯と紅白饅頭を頬張りながら、卒業生や来賓、幹事等各自の自己紹介で卒業するまでの御苦労話をみんなで聞き、感動して涙を流し、失敗談には自分を重ね合わせて笑い、和気あいあいと過ごした時間が走馬灯のように頭をよぎります。あっという間に10周年を迎えることになりました。会員の皆様のご支援があったればこそ幹事も会の運営に頑張っただけです。本当にありがとうございます。

同窓生同士がお互いの顔を知らなくても、放送大学の同窓生であることが分かった時点で、一気に旧知の仲になります。全国どこへ行っても同じことが起きますね。すごいですね。放送大学同窓の力です。その力を来年お貸しください。創立10周年の記念事業を計画しています。具体的には記念祝賀会と記念誌の発行です。記念事業の基金も募集しています。記念誌に寄稿して下さい。そして祝賀会には是非ご出席ください。開催は定期総会と同日にして6月中旬を予定しています。是非お力をお貸し願いたいと存じます。

同窓生の皆様、またお会い出来ることを楽しみにしています。そして学生同士の接着剤となって学生と母校、同窓生を応援して行きましょう!!



研究発表会が 開催される

記念講演

8月31日(土)北海道学習センター6F大講義室を会場で開かれ100数名の聴衆が詰めかけました。今回は同時に第1回東北・北海道同窓会ブロック会議も行われました。

最初に、北海道大学名誉教授・前北海道学習センター所長である富田房雄先生が、「バイオサイエンスと豊かな暮らし」と題して記念講演を頂きました。

本講義の概要は、生物学の基本から最先端まで概説し、特に今盛んに語られている地球環境保全、生物の多様性、先端生物学、また遺伝子組み換え技術など、今、私たちに問われている問題を取り上げていただきました。

まずは、生物とは何か、その科学的理解をするために、生物の発生、文化、進化、遺伝、生命現象、生物相互の関わり合いをともに学び、皆さんとともに考えてみたい。最初に「バイオってなんだ!？」から始まり「バイオ製品は我々の身近の至る所にある!」・農場に・スーパーマーケットに・環境保護現場に・化学工業で・バイオエレクトロニックスの分野で・現代医学の最先端でそれぞれバイオの技術が導入されている。

次に、生活(農業と食)についてのお話では、世界の人口動向から現在(1999年)60億人が2040年には、100億人を突破すると言われ、世界の穀類生産から見ると50億人しか維持することが出来ず、食糧危機に陥る。日本の食糧自給率を見てみると2000年で40%しかなく、輸入煮頼っているのが現状である。一方北海道の食糧自給率は190%で、日本の食糧基地として重要な位置を占めている。

そのほか組み替えDNA技術についての説明があり、組み替え遺伝子食品の安全性に関

わる規制と表示が大事である。食の安心「消費者それぞれが感じる主観的評価であり、健康に有害な作用を及ぼすかどうか科学的事象に基づいて伽倻的に評価すべき」であり、科学に基づいた評価が大切である。最後に「衣食足りて礼節を知る」“The Belly Has no Ears”で締めくくられました。



研究発表の部

「“ビザなし交流”とナショナリズムの研究」

～ナショナリズムの形成過程とその形を探る～

放送大学大学院 文化科学研究科 社会経営科学プログラム修了 高橋 誠さんより発表がありました。高橋さんは、かつて北方四島交流事業の事務職員として北方四島への参加者とともに渡航した経験を持ち、その経験から、“ビザなし交流”北方四島返還に果たす役割等に関心を持って研究されました。日本における北方領土学習の分析、おおむね国が定めた内容に従って北方領土学習を行っていること。北方領土の位置・名前の把握、固有の領土論の理解、日本が返還を正当に主張している立場への理解など。これらは高校生の北方領土問題をテーマにした弁論大会の弁士たちの弁論を分析して、ヒューマンイズムの尊重が得られた。結論として、



☆「北方領土の認知」、関心の深化の切掛け・転機」「ホップ 領土問題の内面化」というナショナリズム形成のプロセス ☆「国民として」領土返還を要求していく必要があるという国家主義的なナショナリズム ☆ビザなし交流等により育まれる四島在住ロシア人の立場を尊重し「共存」という、ヒューマンイズム的な北方領土問題の捉え方。



「外乱刺激によるバランス反応の戦略選択と体幹筋活動」

放送大学大学院 文化科学研究科 生活健康科学プログラム修了 吉田 幸史さん

理学療法士の立場から、バランスとは多くの要素を含んだ言葉であり、バランスが良いとはどのようなことを指しているか不明な点が多い。そこで臨床現場で使われている外乱反応を取り上げて、そのときの健常者ではどのような活動が起こっているか調査した。外乱刺激を加えた場合、大きく2種類の反応がありその違いは何によるものかを検証、外乱刺激を加えても反応が見られない時がある。それは何故か、外乱の早さで検討した。



体幹傾斜群と骨盤回旋群で体幹筋の使い方に違いがあることが示唆された。腹斜筋は体幹を安定させるグローバルマッスルの一つで、どの筋で体幹の安定を得ているかは個人により違いがある。また、腹斜筋が大きな活動を起こすために、相反抑制として背筋は抑制現象を起こしたと考えられる。そのために体幹傾斜群では抑制現象が認められ、骨盤回旋群では抑制現象が認められなかった。

プロ野球選手におけるセカンドキャリア考察

～機構や球団、そして地域の介入は有効か～

放送大学 教養学部 社会と産業コース卒業 飴田 美佳さん



問題の関心を、1，スポーツを職業とする人たちの、セカンドキャリアについて考える。

2，突然解雇通告・・・「危機」を動受け止め、どう克服したか。

3，プロ野球の場合について調べた。

競技選手の平均選手寿命は、野球選手の場合約9年、引退年齢約29歳、サッカー選手の場合、平均寿命2～4年、引退年齢約29歳7割が20代である。メジャーリーグと日本プロ野球機構との違いを年金制度の比較を行った。日本の野球元選手にインタビューを行い選手の自体

を探った。その中で見えてきたものは、

- 1， 選手はよほどでなければ、自分から第一線を退くことはない(心の準備は無い)
- 2， 「野球道」が野球人にもたらした影響は大きい
- 3， 球団への再就職、その絆は狭い
- 4， 友人(同窓)の支援～「学校」の重要性



第1回

放送大学東北・北海道ブロック交流会 開催される

8月31日(土) 放送大学北海道
学習センター6階大講義室に、本
部連合会から斎藤会長・木村副会
長他2名の方が参集、東北ブロッ
クからは、青森同窓会会長他2名、
秋田同窓会会長他2名、山形同窓
会会長、宮城同窓会(宮城野会)
会長他2名、北海道同窓会会長他
11名が第9回放送大学研究発表会
に参加し、終了直後に学生との懇
談会を開催しました。





翌9月1日(日)は情報交換会が行われ活発な意見交換が行われた



各同窓会から活動ぶりを紹介後、本部斎藤会長から、本部活動の状況、この様なブロック交流会に本部からの助成制度があることを説明、矢野理事からは、助成金申請にかかる様式・事業計画の説明があった。

**同窓会本部連合会斎藤会長他
出席者活動報告風景**



秋田同窓会会長

山形同窓会会長





青森同窓会会長



「宮城野会」会長



前日の8月31日(土)は、第9回研究発表会に記念講演をして頂いた富田前所長と筑和所長・土橋事務長、発表者3名も出席して、市内のホテルで、第9回放送大学研究発表会実行委員会と連合会役員・東北ブロック・北海道同窓会の合同で懇親会が開かれ交流を深めた。

懇親会の様子





同窓会交流会



北海道





北海道学習センター研修旅行に参加して

久保田正子

朝起きてビックリでした。明け方まで降っていたと思われた雨が上がり、朝の陽差しが差し込んでいたのです。お天気にもぐまれた9月5日(木)北海道学習センター前からセンター長、事務長並びに事務の女性2名を含む総員26名で出発しました。バスの中では初顔合わせあり、旧知の方々ありで、にぎやかでした。

最初に白老にあるアイヌ民族博物館で、アイヌの末裔の方の説明をうかがい、その後、民族舞踊歌などを聞きました。小学生の見学の方を含め満室の中での見学は迫力に満ちたもので

したが
じまし
しいと
手によ
新
TVで
れて行
た。

お
たいで



生活環は感じられず”見世物”的な印象を強く感
た。現代において当時を再現するのはかなり難
はと思いますが、政治主導でないアイヌの方々の
る民族文化の復興を望んでいます。

日鉄住金は敷地も広く移動だけでも大変でした。
見るように溶けた鉄鉱石ベルトコンベアで運ば
く所とか、実際に見たかったのですが残念でし

昼の白老牛の焼肉美味しかったで～す。又行き
す。





2013（平成 25）年度第 1 期学位授与式

9 月 29 日（日）放送大学北海道学習センター（出席者 34 名）で執り行われました。苦難を乗り越えてはれて卒業証書を手にされた方、本当におめでとうございます。今学期の北海道学習センターから 70 名・旭川サテライトスペース 16 名の新学士が誕生致しました。（「てんとう虫」第 93 号参考）



卒 業 を 祝 う 会 の 様 子



学生サークルうたの会から歌のプレゼント

卒業を祝う会 9月29日(日) 学位授与式の後、同窓会主催による「卒業を祝う会」が、15時30分から行われました。各テーブルには、紅白の饅頭と、お赤飯でお祝いして、オープニングは、「うたの会」サークルの「放送大学歌」、「道・放生賛歌」「喜びの歌」で始まり、主催者の中根同窓会長が挨拶、筑和北海道学習センター所長・土橋事務長の来賓挨拶があり、卒業生代表から北海道学習センターに図書寄贈目録が筑和所長に贈呈され、筑和所長がお茶で乾杯の音頭で「卒業を祝う会」が始まった。



卒業生からの「ひとこと」

《生活と福祉》

森川 百合子

私は 若い時から、仕事の関係上「明日の命は分らない。一日を精一杯いきよう。」という思いでいたが、定年が過ぎ同じ会社で勤務しながらふと考えた。主人は、退職後第二の職場で勤務しながら放送大学に行き学んでいる。

私はこの先、どのような生き方、人生を歩むのだろうか？放送大学に行ってみよう。勿論、勤めも現状維持で2009年に入学した。

教科書が届き、学習する中で経験知もあり今まで知識として捉えてきたことが、何と浅い表面の一部にすぎなかった事に気づかされました。この時、学ぶことは何と楽しいことかを認識しました。しかし、試験が近づいて来ると緊張感が漂うことしばしばでした。

入学当初、何年を要しようと卒業しようという気持ちでありましたが家族・先輩に支えられ、今回卒業できました。有難う御座います。



平成 23 年 3 月定年退職、4 月に全生「生活と福祉」コースへ第 3 年編入学しました。学習センターでの DVD 視聴や面接授業では興味ある科目は積極的に受講しました。

顔なじみの仲間も増えて意見交換することも楽しみでした。だんだん学習も面白くなり平成 25 年前期で卒業単位修得をしました。主人と家庭菜園や自然食品作り・孫とのふれあい・放送大学での学びと充実した毎日を過ごしております。もう少し学びたく、卒業後も再入学を決意

いたしました。就学中は講師の先生、職員の皆様に大変お世話になりましたことに厚くお礼申し上げます。



第5回

文化祭開催される

平成25年10月8日(火)から10月13日(日)まで放送大学北海道学習センター5・6階で開催されました。

今回も、同窓会・学友会・学習センターで実行委員会を立ち上げ、実行委員長に結城愛子氏(同窓会副会長)が選ばれ、委員長を中心に数回の委員会を開催し、準備に取りかかりました。

展示部門は、10月8日(火)から10月13日(日)まで6階ロビーで開催し、絵画・写真・珍しい海草標本・ゴールドワーク・ブローチ、クッション等が展示さ

れ、皆さんの目を楽しませてくれました。



バザー



会場～5階 ロビー

皆様から沢山のバザー用品を提出して頂き、ありがとうございました。

収益金は、10,475円になりました。収益金は、実行委員会で協議し、積立金とさせていただきます。

第5回文化祭 学芸会

「うたの会」のオープニングに始まり、「まなづるとダアリア」の朗読、北大落語研究会 南無家 若鷺さんの落語を聞いて、お腹の底から笑って頂きました。



手品では、司会者も手伝ってどうしてこうなるのだろう？首をひねっていました。

また、ピアノ演奏に会場の皆さんが聴き惚れてい



ました。

青森学習センター「ミステリーサークル」が友情出演をして頂き会場が大いに盛り上がっていました。



最後は、会場の皆さんと一緒に懐かしいフォークダンス、オクラホマミキサ・マイムマイムで締めくくりました。



北海道学習センター第五回文化祭に参加して

ミステリーサークル総長

上野光弘(のっすい～)

文化祭に今回初めて参加させていただきました青森学習センター八戸サテライトスペース所属のミステリーサークルです。私は責任者の総長の「のっすい～」です。青森学習センターは北海道より学生数が少なく、ミステリーサークルは青森学習センター内唯一の公認サークルです。

ミステリーサークルはマジック部門、音楽部門、写真部門の三部門で構成されていて、今回はマジック部門の三名で学芸会に参加させていただきました。

初参加ということで、会場がどんな感じなのか、お客さんが何名ぐらいなのかを把握するために前日入りして手順を再構成しましたが、プログラムを見て、あれ？うちの二つ前に手品と書いてある。内容がダブればお互いにまずいなということで事務局にどのような手品なのかちょっと調整を図りたいとお願いし、当日 11 時からのリハーサル時に打ち合わせることとなりました。これで一安心。

ところが当日のリハーサルの時間に手品の方がお見えにならず、時間ギリギリに会場入りするとのこと。あらら、少し雲行きが・・・。

お見えになった時点で、打ち合わせした結果、当初予定していたものと一つダブリ有り。現象は少し違うのですがジャンルが同一でして、しかし今回は既にこのネタはやらないことにしていたものでした。打合せ後すぐにスタンバイといった流れで本番突入。

バタバタしての本番でしたが、今回は初参加ということで会場に合わせて構成を臨機応変に対応できるように準備済みでしたので、慌てることなく楽しむことができました。

裏側はこんな感じなのですよ。(笑) 会場が広いと小さい物は後ろの方では見えない、逆に近すぎると角度によってタネが見えるなど色々制限がありまして。

今回は北海道学習センターと青森学習センターとの初交流とのことで、大会役員の皆様の他、参加された生徒さん達とお話でき、交流を深めることができました。

文化祭終了後は役員の皆さんとの打ち上げへと続き、筑和所長も参加されて、お互いの学習センターの近況や、それぞれの地



域の話など情報交換し、とても話が弾みました。

当然ながら、その時においても席を移動しながらマジックを披露し、楽しんでもらいました。このような見せ方を専門用語でテーブルホッピングと言います。

マジックはコミュニケーションツールとして最高レベルのものでして、お互いに打ち解けるまでの時間が少なく済みます。

今回の交流を機に、今後更なる交流に繋がっていただければと思っております。皆様にはとても良くしていただき、本当にありがとうございました。



第5回文化祭 研究発表会

10月12日(土) 午後2時から研究発表会が開催されました。最初は**記念講演**として、旭川医科大学

学講師 放送大学客員准教授 池上将永先生

講演を頂いた。「心と身体と脳」—身体が心と脳を導く— 心の状態を伝達する場合、内臓や皮膚からの感覚情報を用いて伝達することが大切で、心の動きが身体と脳の」関係について心理学や脳科学の観点からお話がありました。当日は100数名の方が、熱心に先生のお話に耳を傾けていました。



研究発表の部

テーマ「看護医療分野のカタカナ語」

放送大学大学院 文化科学研究分科情報学プログラム修了

伊藤 愁紀子さん

現在、日本語の中にカタカナ語が氾濫している。医療現場においてもカタカナ語は多いが、専門用語であるため、きちっと患者さんに分かる言葉で説明しなければならない。いろいろな医療分野のカタカナ語について、研究がなされた。



テーマ「電気自動車における燃焼式ヒーターの効果」

放送大学大学院 文化科学研究自然環境プログラム 修了 鏡 禎彦さん

自動車部品メーカーに勤務した経験から、現状の暖房方式と、ドイツからインターネットで部品を取り寄せ、ウォーターヒーター方式(温水を循環する方式)比較検討した。専門的な立場から、自分でも実験した結果に基づき発表され、会場から熱心にメモする姿が見受けられました。



会場から活発な質疑が出され、発表者は答弁に追われていた。

閉会は、副実行委員長の小林さんが、発表者にお礼と感謝を述べて閉会した。



放送大学同窓会北海道支部新役員の紹介

今年度から役員になられた方を紹介します。次の方が幹事に就任しました。

宮崎 新吾(千歳市在住)

この度、同窓会幹事を務めさせていただくこととなりました宮崎新吾と申します。最初に同窓会役員のお話を頂いた時には、若輩者の私が幹事などというのはおこがましいと思いましたが、「今までお世話になった放送大学に何かご恩返しをしたい」との思いで、力不足を感じながらも務めさせていただこうと思った次第です。

これまで同窓会活動に関わったことはありませんでしたが、「卒業を祝う会」、「研究発表会」などの開催や「同窓会会報」、「ひとこと集」の発行など、さまざまな活動を通じて同窓会を支えてくださった中根会長はじめ役員の方々が大変なご苦勞の下で会務をこなされる姿に感心しつつも、「卒業を祝う会」への卒業生の出席者の少なさに、一抹の寂しさを感じていました。

しかし、放送大学は、国内大学にあって稀有なりピーター率の高い大学であり、卒業生・在学生ともに母校を愛する気持ちは強いものがあると確信しております。そんな愛校心をもった同窓生が、心のよりどころとなるような同窓会を作る一助となるべく、がんばっていきたいと思っています。ただ、事をなすにはなんと言っても「仲間」が必要です。まずは、一人でも多くの皆さんが同窓会活動に積極的に参加をして頂けるよう努力していきたいと思っています。

最後になりましたが、今後のご協力をお願いいたしますとともに、皆様のご活躍を心より祈念いたしております。



小林 祐吉(札幌市在住)



今年の3月まで北海道学友会の会長をしておりました。その後同窓会の幹事と学友会の顧問の2足のわらじをはき会の運営をみてきました。学友会は学生の会で大学との関係も大学と学生の関係で明確です。同窓会は卒業生を中心に再入学の学生と複雑で会員の年齢構成も多様な人たちです。学友会は各学習センターに属しており全国組織ではありません。地域によっては組織化されておられません。一方同窓会は大学の外側にあり全国組織で地域により活発に活動しています。かつて北海道の同窓会と学友会は似た様な

事業をそれぞれ行っており、学生から違和感を指摘されていきました。また大学本部からも指摘を受けており、私が学友会会長の時代に学生のための事業なので大学も交え実行委員会を作り、事業にあたり順調に推移しています。文化祭・研究発表会はほぼ形が整い今後は質の向上に努めたいと考えています。同窓会は来年創立10周年に成ります。大きく飛躍する年です。設立から今日まで育てていただいた先輩のご苦勞に感謝して、今後さらに大きく飛躍させようではありませんか。まず10周年記念事業の特別プロジェクトを立ち上げ10周年記念入会キャンペーンを銘打って会員増強を図りましょう。大切なことは卒業生・会員・学生とのコミュニケーションを図ることです。学友会との連携を強め卒業と同時に同窓会に入会していただける魅力作りを考えましょう。同窓会は大学

の応援団です。大学関係者と協調して放送大学のステータスアップにつとめようではありませんか。学生の入学希望も増え私達 OB・学生の社会的評価も向上するでしょう。自信を持って私は放送大学の卒業生ですと社会に訴えましょう。そして自分の履歴書の学歴欄に「放送大学 在学中・卒業」と書くではありませんか。

向井 邦弘(石狩市在住)

今年から、同窓会の幹事を引き受ける事になりました。何分にも石狩市の奥に在住しているため、どれだけ協力できるか分かりませんが、出来る範囲で頑張りますのでよろしくお願い致します。

「大人の学び考」

近年、サラリーマンや定年退職者の間で、学ぶ意欲が高まりつつある。

実は私も今から 11 年前の 1990 年、まだ職場の定年まで 5 年あったが、認定心理士を目指して、放送大学への入学を決意し勉学を始めた。最初は、科目履修生として始めたが、心理学実験の面接授業が満員で取ることが出来ず、「全科履修生になれば取れやすい」との、放送大学の学生から情報を得て、2004 年から全科履修生の 3 年編入で入学した。確かに心理学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを順調に取ることが出来た。おかげで 2008 年認定心理士に関する単位を習得することが出来、認定心理士の資格を得たのである。その後退学しようと思ったが、卒業まで頑張ろうと決意、しかし 50 代後半になると頭脳の記憶力が低下して、若い頃の一夜漬けでは済まされない状態になっている。それでも何とか 2012 年 3 月に卒業を迎えることが出来た。入学して 8 年目の遅咲きの春であったが、楽しい面も沢山得られた。また、現役の仕事もおろそかに出来ず「二足のわらじ」生活も少々きつい面もあった。しかし、30 数年仕事一筋に過ごしてきた自分を見直す良い機会でもあり、仕事が苦悩したときなど、学ぶことで「気を紛らわす」効果もあり、言い換えれば「人生の暇つぶし」のようなものである。さて、終わってしまうと何か気が抜けたような気がしてくるものである。再度「暇つぶし」に挑戦することにした。



大内 須美子(留萌市在住)

大内さんは「遠隔地なのでお手伝いできる時だけで良ければ」と幹事就任を承諾して下さいました。明るく聡明で周囲の人々を和ませる雰囲気を持った方です。歯切れの良い的確なトークと美声で研究発表会をスムーズに進行するなど多才な面をお持ちで、その才能を我が同窓会に貸して頂きたいと思います。同窓会が流れる水のごとくいつも新鮮さを失わないように新しい風を吹き込んでください。大内さん宜しくお願いします。

(中根会長談)



会費納入と新入会員募集のお知らせ

2013(平成 25)年度の継続会員の方は、今年度の年会費 **1,000 円** を下記口座へお振り込みくださるようご協力をお願いします。

また、同窓生の中で同窓会に入会していない方がおられましたら、入会をおすすめくださるようお願いいたします。

入会を希望される方は、郵便振替用紙に「氏名、住所、電話番号、卒業年月、専攻」をご記入の上、入会金 **1,000 円**、年会費(初年度) **1,000 円** を下記口座へご送金ください。(次年度以降は年会費のみとなります。) また、**70 歳以上**の方は、**1 万円**で**終身会員**となります。

ゆうちょ口座名 放送大学北海道同窓会
口座番号 02740-0-37725

放送大学を宣伝してください！

皆さんの『口コミ』で、放送大学に入学して良かったと思うことを、大勢の方々に知らせてください。

入学等に関する問合せ先

放送大学北海道学習センター
TEL 011-736-6318

「会員の声・読者の声」募集中！

現在、会員や読者の皆さんの声を募集しております。皆さんの近況や会報へのご感想、ご意見がございましたら、是非、お寄せください。

(宛先) 〒060-0817

札幌市北区北 17 条西 8 丁目 北海道大学構内
放送大学北海道学習センター気付
放送大学北海道同窓会
学習センター事務室内ポストに直接投函可
FAX・Tel 兼用：011-642-2389 中根

新入会員のご紹介！！（敬称略・順不同）

2013(平成 25)年9月卒業生

(生) 森川 百合子 (生) 久保 清子
() 笹崎 良依 () 黒坂 仁
() 佐藤 光子 (社) 飴田 美佳
(生) 室田 貴恵

(2013(平成 25)年10月 4日現在) 以上 7 名
〒・住所・電話番号などの変更のときは、必ず、ご連絡をお願いいたします。

編集後記

今年の夏は猛暑日が続いたと思うと、すごしやすい日があったり、何か不安定な日が続きましたが、みなさんは如何お過ごしでしたか。

あっという間に秋がやってきました。北海道学習センターのある北海道大学構内も銀杏の木が鮮やかな黄金色になっていっていました。先日は、北海道に 50cm 以上の大雪が降り、冬将軍が目の前にきている感じです。

前回の会報より 3 ヶ月経って、やっと第 23 号を皆様にお届けすることが出来ました。今回は盛り沢山の内容となっております。楽しんで読んで頂ければ幸いです。

広報担当

